

敬和学園大学

【人文学部】国際文化学科/英語文化コミュニケーション学科/共生社会学科
〒957-8585 新潟県新発田市富塚1270
☎0120-26-3637 FAX:0254-26-3996

www.keiwa-c.ac.jp



敬和学園大学は
(財)大学基準協会の大学評価を受け、大学基準に「適合している」と認定されました。

リベラルアーツ LIBERAL ARTS

日本近現代史 Modern Japanese History	国際政治学 International Politics	イギリス文学 English Literature	社会福祉 Social Welfare
アジア近現代史 Modern Asian History	経済学 Economics	英語学 English Linguistics	地域福祉 Community Welfare
ヨーロッパ近現代史 Modern European History	データサイエンス Data Science	心理学 Psychology	社会起業 Social Entrepreneurship
文化人類学 Cultural Anthropology	映像制作 Video Production	教育学 Education	ボランティア Volunteerism
キリスト教学 Christianity	ゲーム文化 Gaming Culture	児童英語教育 English Education for Children	スポーツ科学 Sports Science
哲学 Philosophy	アメリカ社会史 American Social History	日本語教育 Japanese Education	
国際法学 International Law	アメリカ文学 American Literature	福祉思想と実践 Welfare thought and its practice	



敬和学園大学のパンフレットは、ユニバーサルデザインフォントを使用しています



「教員・講義ガイドブック2025」
リベラルアーツの学び



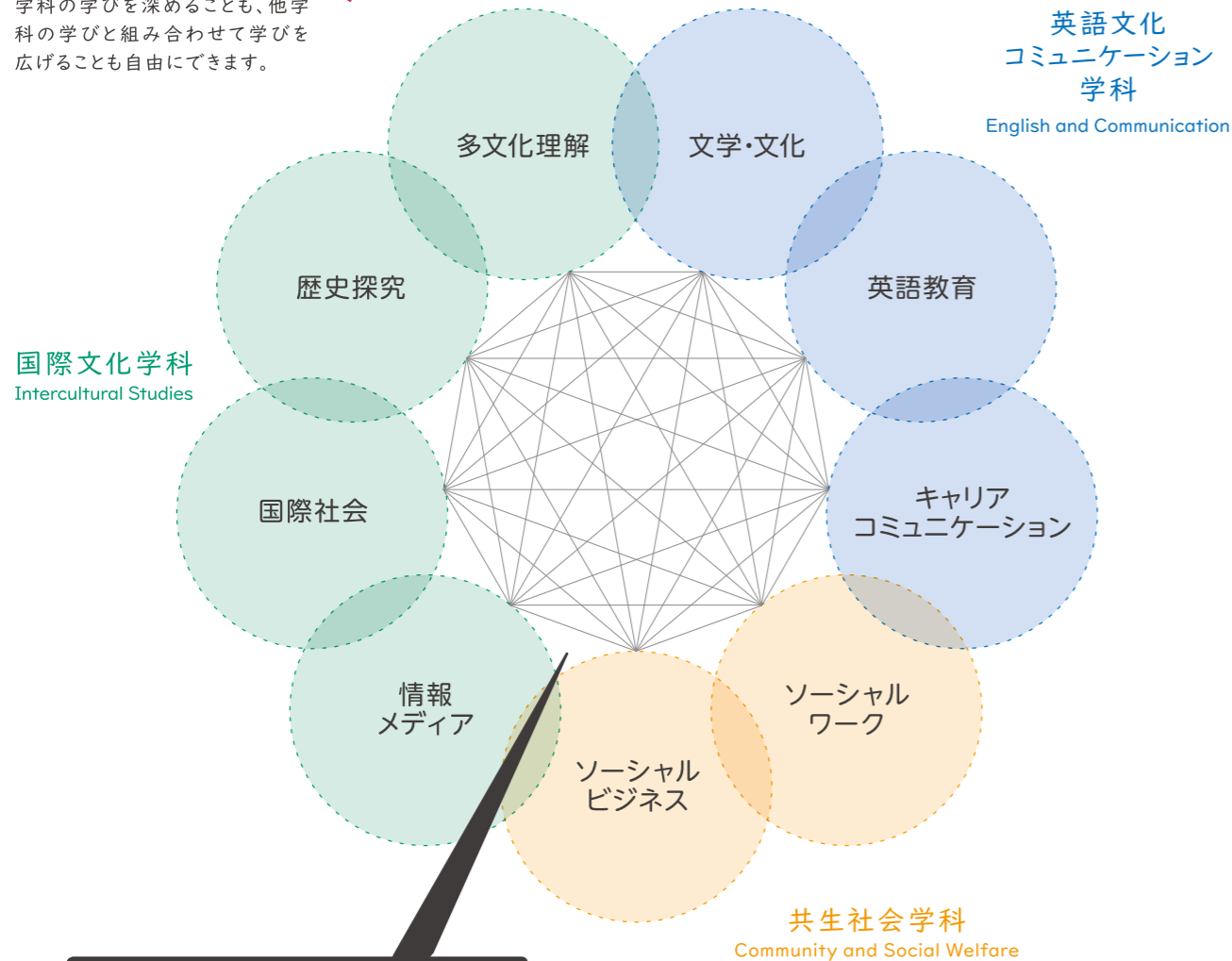
敬和学園大学
KEIWA COLLEGE FACULTY 2025

学びが社会につながる リベラルアーツの学び方

リベラルアーツの最大の特長は、幅広い分野にわたる学びを自由に選択できることです。
 学科の垣根を越えて、広い専門分野を横断的に学ぶことが可能です。敬和学園大学では
 3学科9分野にわたる幅広い専門科目を用意しています。また、所属する学科の科目だけでなく、
 他学科の科目も柔軟に選択し、卒業必要単位に組み入れることができます。

① 学科を越えて学べる

学科の学びを深めることも、他学科の学びと組み合わせることで学びを広げることが自由に行えます。



② 自由に組み合わせる

例えば3分野を組み合わせるパターンは、
 $9 \times 8 \times 7 = 504$ 通りあります。

科目分野の組み合わせにより、学びが社会につながる

専門に学ぶ分野は、一つとは限りません。複数にわたる学問分野を横断的に学ぶことで、あなたの可能性は大きく広がります。
 敬和学園大学では、科目分野の組み合わせにより、体系的に学びを深めるプログラムを用意し、学びを社会につなげています。

●「ディプロマ」プログラム

学びの組み合わせ	ディプロマ名称	内容	将来の仕事
キャリアコミュニケーション × 国際社会 × 歴史探究	グローバル市民プログラム	言葉と国際理解の力を背景に「地球市民」として分け隔てなく人々のために生き、活躍の場を海外に広げる人材を育成します。集中的な英語力養成、留学、海外インターンシップ、その後続く学びのプログラムです。	→ 商社、グローバル企業、NGO(国際協力)、NPO(公益活動)
ソーシャルビジネス × 国際社会 × 情報メディア	地域経営プログラム	企業経営やコミュニティ形成のために必要となる理論を、地域の現状と共に学びます。これらの知識を地域社会の中で実践する経験を通じて、地域の未来を支える社会人を育成します。	→ 公務員、地場企業、地域金融機関、NPO(公益活動)
情報メディア × キャリアコミュニケーション × ソーシャルビジネス	情報メディアプログラム	ソーシャルメディアをはじめとした、さまざまな「メディア」による情報発信を実践的に学びます。同時に、ゲーム、アニメ、映像作品などのコンテンツ制作についても学ぶプログラムです。	→ IT・ゲーム産業、マスコミ、アナウンサー、観光サービス
キャリアコミュニケーション × 英語教育 × 文学・文化	英語イマージョンプログラム	英語を集中的に学び、第二言語としての英語運用能力を身につけることを目標とします。卒業後の社会で通用する英語力と英語で思考し、伝える力を身につけます。	→ ホテル、航空会社、商社、観光サービス
英語教育 × 文学・文化 × キャリアコミュニケーション	児童英語教育プログラム	「児童英語教育概論」やインターンシップ等を通じ、子どもたちに英語を教える理論と実践を学ぶプログラムです。小学生対象の英語活動の現場に参加し、子どもたちとの交流を通じて、学びを深めます。	→ 児童英語講師、小学校教員、教育機関
多文化理解 × 国際社会 × 英語教育	日本語教育プログラム	日本語を駆使する能力と日本文化についての多角的な知識を修得します。外国人留学生が母国で、日本人学生が海外で日本語教育に携わる時にも役立ちます。海外でのインターンシップへの参加も可能です。	→ 日本語教師、各種学校、教育機関
文学・文化 × 歴史探究 × ソーシャルワーク	キリスト教教育プログラム	聖書を通じてキリスト教そのものを学ぶと同時に、歴史や文学作品を通じて、欧米の思想文化の根底にあるキリスト教への理解を深めます。キリスト教を題材に、人間の生き方を学びます。	→ 牧師、伝道師、宗教科教員、研究者

※各プログラム修了者には、本学認定の修了証が授与されます。

リベラルアーツの学び CONTENTS

<p>→ P.5</p> <p>日本近現代史</p> <p>現在の問題を意識するための歴史学</p> <p>担当教員: 金 耿昊</p>	<p>→ P.7</p> <p>キリスト教学</p> <p>神と人間と世界について考える</p> <p>担当教員: 下田尾治郎</p>	<p>→ P.9</p> <p>経済学</p> <p>経済学から環境問題を考える</p> <p>担当教員: 房 文慧</p>	<p>学びをひろげる</p>
<p>→ P.6</p> <p>アジア近現代史</p> <p>中国と東アジアの関係を学ぶ</p> <p>担当教員: 土居智典</p>	<p>→ P.8</p> <p>哲学</p> <p>「当たり前」を疑う</p> <p>担当教員: 井西弘樹</p>	<p>→ P.10</p> <p>データサイエンス</p> <p>データを把握し、意思決定をサポート</p> <p>担当教員: 伊藤 学</p>	
<p>→ P.6</p> <p>ヨーロッパ近現代史</p> <p>歴史を学ぶことは、今を生きる立ち位置を知ること</p> <p>担当教員: 丸畠宏太</p>	<p>→ P.8</p> <p>国際法学</p> <p>地方、そして日本と世界の関わりを実感する</p> <p>担当教員: 藤本晃嗣</p>	<p>→ P.10</p> <p>映像制作</p> <p>デジタルクリエイティブの探究</p> <p>担当教員: 一戸信哉</p>	<p>→ P.17</p> <p>社会福祉</p> <p>人間としてどう生きるのかを学ぶ</p> <p>担当教員: 山崎ハコネ</p>
<p>→ P.7</p> <p>文化人類学</p> <p>私たちは、自分のことを分かっているだろうか</p> <p>担当教員: 長坂康代</p>	<p>→ P.9</p> <p>国際政治学</p> <p>現実を踏まえながら平和な世界を構想する</p> <p>担当教員: 富川 尚</p>	<p>→ P.11</p> <p>ゲーム文化</p> <p>遊びを科学する</p> <p>担当教員: 加藤裕康</p>	<p>→ P.18</p> <p>地域福祉</p> <p>地域課題の解決策は地域にある</p> <p>担当教員: 趙 晤行</p>
<p>→ P.12</p> <p>アメリカ社会史</p> <p>人々の目線から国家や共同体の歴史を探る</p> <p>担当教員: 山崎由紀</p>	<p>→ P.13</p> <p>イギリス文学</p> <p>文学は人間的生き方を模索する手がかり</p> <p>担当教員: 金山愛子</p>	<p>→ P.15</p> <p>教育学</p> <p>健やかに生きるための学びを教育学的に探究</p> <p>担当教員: 江口和美</p>	<p>→ P.18</p> <p>社会起業</p> <p>山積する生活問題を解決・緩和する手法を学ぶ</p> <p>担当教員: 石坂 誠</p>
<p>→ P.13</p> <p>アメリカ文学</p> <p>北米の文学と、それを生み出した背景を学ぶ</p> <p>担当教員: 荒木陽子</p>	<p>→ P.14</p> <p>英語学</p> <p>英語を通して人間の知の営みを探る</p> <p>担当教員: 主濱祐二</p>	<p>→ P.15</p> <p>児童英語教育</p> <p>児童対象の英語指導法を学ぶ</p> <p>担当教員: 大岩彩子</p>	<p>→ P.19</p> <p>ボランティア</p> <p>思いを行動に移し、自分らしい生き方を見つける</p> <p>担当教員: 池田しのぶ</p>
<p>未来がひろがる</p>	<p>→ P.14</p> <p>心理学</p> <p>心の働き方の理解を深める</p> <p>担当教員: 益谷 真</p>	<p>→ P.16</p> <p>日本語教育</p> <p>「日本語」を手がかりに世界を広げる</p> <p>担当教員: 木林理恵</p>	<p>→ P.19</p> <p>スポーツ科学</p> <p>元オリンピック選手が指導するスポーツ実習</p> <p>担当教員: 松浦進二</p>

国際文化学科

[Intercultural Studies]

異文化を学び、自分と世界のつながりを考える

人が集まって社会ができ、社会の集合が世界をつくっています。グローバル化が進む今、異なる文化を知り、自分たちの地域と国際社会とのつながりを理解することが必要です。国際文化学科では、さまざまな文化や歴史への理解と、国際社会と地域の相互関係を学ぶことで、グローバルな視点を持つ国際教養人を育てます。



歴史探究 コース

歴史の学びを通じて、未来を考える

日本史、アジア史、ヨーロッパ史の学びを通じて、人類社会の過去における営みの中に私たちの現在を知るさまざまな英知を探究し、人類にとってよりよい社会を築いていく力を育てます。



多文化理解 コース

異文化を理解し、他者との向き合い方を考える

ヨーロッパ、アジアの多様な文化や習慣を理解し、グローバル化が進行する現代の多文化社会の中で、自己のアイデンティティを保ちながら、異なる他者との絆を深める力を育てます。



国際社会 コース

私たちが生きている国際社会の仕組みを学ぶ

国際政治、国際法、国際経済の勉強を通じて、複雑な国際社会の仕組みを理解し、グローバルな視点を養います。自分たちの社会と世界のつながりを理解し、行動する力を育てます。



情報メディア コース

情報メディアと社会を学び、「発信力」を磨く

情報メディアに関する諸領域を学び、ウェブや映像などの「発信力」を磨きます。「発信力」を生かした実践活動により、地域社会の課題を解決する力を養います。

● 学びの分野

日本近現代史

Modern Japanese History

● 担当教員

金 耿昊

国際文化学科
准教授



歴史探究

【最終学歴】 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程

【研究分野】 日本近現代史 / 在日朝鮮人史 / 朝鮮近現代史

【担当する科目】 歴史学 / 日本史概説 / 日本近現代史 / 日本思想史 / 歴史学演習

現在の問題を意識するための歴史学

歴史の学び方には、大きく2つの形があります。1つは、今、目の前にある問題の根源を過去へとさかのぼって見ていく形です。もう1つは、現在とまったく異なる過去の姿に出会うことを通して、今を見つめ直す形です。日本近現代史の学びから得られる歴史認識は、現在の日本の問題を意識することにつながります。

この学問と社会とのつながり

歴史学は、私たちが取り巻く社会の成り立ちを、過去から現在への推移という「時間」の視点からとらえる学問です。そこに新潟市・聖籠町・新潟県（ローカル）、東アジア・世界（グローバル）などの「空間」の視点を加えれば、日本社会をより深く、より広く理解できるようになるはずですよ。

「日本近現代史」では、明治から現在に至るまでの日本と新潟の足跡をたどります。高校で学んだ歴史の中にある新潟の様相を知ることは新鮮です。歴史は一つではありません。歴史を見る視点や時代によって見え方が変化します。歴史を学ぶことは、将来を考えることにつながります。

小林周磨
国際文化学科3年 / 新潟県立長岡岡徳高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 今、戦争と侵略の時代を考える

講義② 『戦後日本』とは何か？

テーマ 歴史 / 人権 / マイノリティ / 日本近現代史 / 朝鮮近現代史 / 在日朝鮮人史

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。



詳しくはこちら

● 学びの分野

アジア近現代史

Modern Asian History

● 担当教員

土居 智典

国際文化学科
教授



歴史探究

【最終学歴】 広島大学大学院文学研究科東洋史学専攻博士課程後期

【研究分野】 中国近現代史

【担当する科目】 アジア史概説／アジア史／アジア文化論／アジア近現代史／歴史学演習

» 中国と東アジアの関係を学ぶ

第二次世界大戦後の国際秩序が大きく動揺し、再編成を迫られている現在、中国が国際秩序形成にどう関わっていくかについて、世界が注目しています。アジア近現代史の学びを通して、中国が国内的にはどのような統合原理でまとまり、周辺の東アジア地域にどのような影響を及ぼしているのかを考えます。

この学問と社会とのつながり

東アジア諸国は、好むと好まざるとに関わらず、中国から強い影響を受けています。外交、貿易、移住などを通して、今後、東アジアは常に中国の存在を意識しながら相互の結びつきを強めるでしょう。あらゆる分野の社会的ニーズは、中国との関わりを避けることができなくなってきています。



学生コメント

「アジア近現代史」では、東アジア諸国が現代に至るまでのような成長過程を歩んできたか、そして、大国へ進みつつある中国が近現代においてどのような政策を行ってきたかを学びます。歴史を俯瞰して見ることの重要性を知り、一國史観ではなく比較史的に見る力が身につきました。

谷口 幹明
国際文化学科3年 / 新潟県立三条東高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 今を生きる華僑・華人たち

講義② 北京の昔と今



詳しくはこちら

テーマ 中国 / 日中関係 / 東アジア史 / 中国史

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

ヨーロッパ近現代史

Modern European History

● 担当教員

丸島 宏太

国際文化学科
教授



歴史探究

【最終学歴】 京都大学法学研究科政治史・近代ドイツ軍事史専攻博士課程後期

【研究分野】 近代ドイツの軍隊と社会 / 徴兵制の社会史

【担当する科目】 キリスト教史 / ドイツ語文化圏研究 / 西洋史概説 / 西洋史 / ヨーロッパ文化論 / 歴史学演習

» 歴史を学ぶことは、今を生きる立ち位置を知ること

ヨーロッパ近現代史の中で、近代ドイツ軍事史を研究しています。歴史を学ぶことは、今を生きる私たちの立ち位置を知ることであり、現代の視点から過去と対話をするでもあります。近代ドイツの歴史を例にとり、軍事的価値観に私たちが徐々に縛られていく様子を学びます。

この学問と社会とのつながり

昔、アメリカの軍艦の日本寄港に反対する抗議デモの行列があちこちで見られました。ところが最近では、同じアメリカ軍艦の艦内見学会に並ぶ行列が見られます。こんな現代的現象を比較考察するのも、私かいう軍事史の重要なテーマなのです。一般にイメージされる軍事史とはずいぶん違うでしょう。



学生コメント

「ヨーロッパ近現代史」では、歴史上の出来事について、各国の関係、文化、社会情勢、当時の考え方など、さまざまな側面から学び考えます。時代ごとの価値観の変化を感じ、今まで考えもしなかった視点から知識を得ました。対話により、自分たちの意見や疑問を突き詰めていくので、より学びが深まります。

阿部 美希
国際文化学科4年 / 新潟県立分水高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① ユダヤ人迫害に見る人種差別の歴史

講義② 日常の中の軍隊



詳しくはこちら

テーマ ドイツ史 / 軍事史 / ヨーロッパ史

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

文化人類学

Cultural Anthropology

● 担当教員

長坂 康代

国際文化学科
准教授



多文化理解

【最終学歴】 名古屋大学大学院国際開発研究科国際コミュニケーション専攻博士課程後期

【研究分野】 文化人類学 / 都市人類学

【担当する科目】 文化人類学 / 地域学 / 地域文化論 / 文化論演習 / アクティブラーニング演習

» 私たちは、自分のことを分かっているだろうか

自分のことを分かるためには、自分と違う他者や異文化が要るのです。他者や異文化を知って、自分をj知るので。「文化人類学」は、異文化を鏡にして、他者を知り、それを通して自分をj知る学問です。

この学問と社会とのつながり

現代は、モノ、人、コトが行き交うグローバル時代です。世界が大きな交流のうねりの中にある今、自分の文化が正しいとか優れているとか、または新興国が劣っているといった価値観ではなく、どの文化も正しいという世界の平等を考えていくことが社会にとって重要です。



学生コメント

「文化人類学」では、異文化を通じて自分と他者についての考えを深めます。教室で学ぶだけでなく、生活や食事などイスラムの文化を体験したり、逆に留学生に日本文化を紹介したりと、実践的に活動します。異なる文化や価値観に触れることで、積極性と柔軟性を持って行動できるようになりました。

澤 真
国際文化学科4年 / 新潟県立巻総合高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 自分をj知るための異文化体験

講義② コミュニケーションを見直そう



詳しくはこちら

テーマ 異文化理解 / 多文化共生

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

キリスト教学

Christianity

● 担当教員

下田 尾治郎

国際文化学科
宗教部長・教授



多文化理解 歴史探究 文学・文化

【最終学歴】 米国プリンストン神学大学大学院

【研究分野】 キリスト教神学

【担当する科目】 キリスト教史 / 新約聖書の世界 / 比較宗教思想 / 文化論演習

» 神と人間と世界について考える

キリスト教は、2000年もの長きにわたり、政治、経済、文化、芸術などの発展に影響を与えてきました。その規範となる聖書という書物の理解を通して、かかるキリスト教に対する理解を深めると共に、神、世界、社会、人間について考えていこうとする学問です。

この学問と社会とのつながり

この学問を通して、この世に生を与えられた命の尊厳の根拠を見つめ直し、異なる者が憎み合うのではなく、互いに異なることの豊かさに目覚めつつ、共に支え合う社会を構築していくことの大切さを学んでいただけたらと思います。



学生コメント

「キリスト教学」では、聖書が物語のようにおもしろいため、興味深くキリスト教について学べました。聖書から学べるさまざまな教訓は、キリスト教を信仰している人だけに限らず、多くの人の心に響くものです。聖書に触れることは、自分の人生について深く考えるきっかけになりました。

駒倉 衣織
国際文化学科3年 / 新潟県立新発田商業高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① イエスの生涯とその教え

講義② キリスト教の戦争観と平和観



詳しくはこちら

テーマ キリスト教 / 聖書 / 西洋文化

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

哲学

Philosophy

● 担当教員

井西弘樹

国際文化学科
専任講師



多文化理解 文学・文化

【最終学歴】 大阪大学大学院文学研究科博士後期課程

【研究分野】 哲学・倫理学

【担当する科目】 哲学／ドイツ語文化圏研究／ヨーロッパ思想史／文化論演習

≫ 「当たり前」を疑う

哲学は、私たちの「当たり前」を問い直す学問です。例えば、「私とは何か」、「なぜ道徳的であらねばならないのか」など、私たちの周りには哲学的な問題がいくつも隠されています。こうした問題に取り組むことは、人間や世界についてじっくりと考える機会となります。

この学問と社会とのつながり

哲学を学ぶことは、ヨーロッパ文化の基礎を理解することにつながります。そこで得られた知識は、自分とは異なる価値観を持った人々と共に生きていくための助けとなるでしょう。さらに、哲学書を読み解く中で身につけた論理的思考力や読解力は、大学を卒業した後も大いに役立つはず。



「哲学」では、人生、世界、事物の根源のあり方、原理を理性によって求める力を養い、答えの不明瞭な問題を、自らの思考を使って追究していきます。答えがないからこそ自らが物事について模索するのであり、同時に、社会問題に深く関わることで社会の一員であるといった自覚が芽生えます。

学生コメント

梅澤志帆
国際文化学科4年／私立日本文理高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 哲学とはどのような学問か

講義② 同情の難しさについて

テーマ 哲学／倫理

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。



詳しくはこちら

● 学びの分野

国際法学

International Law

● 担当教員

藤本晃嗣

国際文化学科
学科長・教授



国際社会

【最終学歴】 大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程

【研究分野】 国際人権基準とその日本での実施

【担当する科目】 日本国憲法／国際法／国際人権論／現代社会演習

≫ 地方、そして日本と世界の関わりを実感する

国際法は、各国の外交関係や戦争を防ぐためのルールなどスケールの大きなものから、私たちの生活に直結する人権問題や国際貿易に関するルールを定めています。国際社会そのものを学ぶと同時に、私たちの生活が国際社会と密接な関係を持つようになったことを実感しましょう。

この学問と社会とのつながり

国際法を通して国際社会を読み解いていくと、国際的な問題が私たちの暮らしに影響を与える一方で、私たちの暮らしが国際的な問題を引き起こしているメカニズムが見えてきます。こうした問題の一つひとつ見ていくことで、国際法学を身近に感じてほしいと思います。



「国際法学」では、国際法が誕生したきっかけ、国際法の種類といった基本を学んだ後、それらを踏まえて、どんな時に国際法が作用するのかといった、私たちの生活にも身近な具体例を見ていきます。国際法の歴史と用途を学んでいく中で国際社会の問題点が見えてきます。

学生コメント

神田淳志
国際文化学科3年／新潟県立五泉高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 世界での人権保障

講義② 世界の難民問題

テーマ 国際法（条約など）と日本社会

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。



詳しくはこちら

● 学びの分野

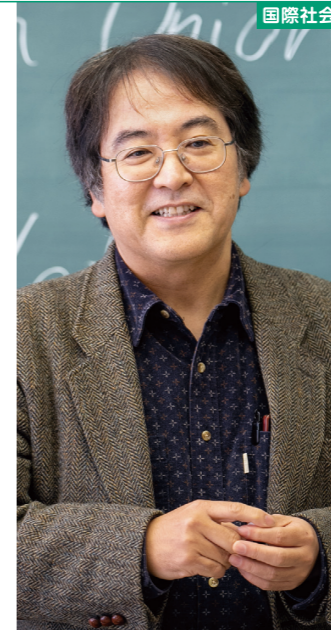
国際政治学

International Politics

● 担当教員

富川尚

国際文化学科
教授



国際社会

【最終学歴】 同志社大学大学院法学研究科政治学専攻博士前期課程

【研究分野】 国際社会の組織化を生みだす政治

【担当する科目】 政治学／国際関係史／国際政治論／現代社会演習

≫ 現実を踏まえながら平和な世界を構想する

国際政治学は、現実を踏まえながら平和な世界を構想する学問です。国際社会の基本構造を学んだ上で、戦争をはじめとする国家間の対立の現実と、組織化がますます進んでいる国際協力の現実の両方を学習します。みんなが暮らしている社会はこれからどのように変革していくのかを考えていきます。

この学問と社会とのつながり

理想を語るのは年輩者よりも若者の方が得意なはず。何百年に一度の変革期にあるといわれる現代の国際社会は、何よりもよりよい世界を創り上げる理想を必要としています。次代を担う若者が現実と則した質の高い理想を模索していく姿勢こそ、国際政治学の醍醐味があります。



「国際政治学」では、国際社会の基本的構造や役割といった国際関係全般を学ぶことで、政治問題を身近なものとして捉え、考えを深めることで政治とはどのようなものかを考察する力をつけます。国際関係の情勢を理解することで世界の見え方が変わり、政治のおもしろさに気づきました。

学生コメント

高山永遠
国際文化学科3年／新潟県立三条東高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 超国家EUを創った原動力

講義② グローバル時代のリーダーシップ

テーマ 平和創造／国際社会の組織化／信頼関係とリーダーシップ

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。



詳しくはこちら

● 学びの分野

経済学

Economics

● 担当教員

房文慧

国際文化学科
教授



国際社会

【最終学歴】 新潟大学大学院現代社会文化研究科経済学専攻博士課程

【研究分野】 環境保全を人間の経済活動の中にかに取り組みかを課題とする理論と実態の研究

【担当する科目】 経済学／経済史／環境経済学／現代社会演習

≫ 経済学から環境問題を考える

経済分析の手法を使って環境破壊のプロセスおよび改善の方法を考究し、環境と経済の関係を是正する方法を考えます。身近な問題から環境破壊を引き起こす経済的要因とメカニズムを理解し、自分自身の環境保護活動を通して、環境制御のあり方に根拠を与える理論を習得します。

この学問と社会とのつながり

環境は最高の公共財です。「カシコイ」生活者になるために、また就職活動を行う際にも、私たちの足元となる地域経済、私たちを取り巻く地球環境の状況およびその状況変化につながる諸企業の経営戦略展開・市町村の振興方法を理解する必要があります。



「経済学」では、経済の基礎だけでなく、より深い部分まで学ぶことができます。私たちの生活における生産から消費までの一連の流れを学ぶことで、経済の仕組みを理解できるようになります。常に変化する日本経済や景気などに対して、私たちがどのように対応すべきかを考えるようになりました。

学生コメント

渡辺和幸
国際文化学科4年／私立敬和学園高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 身近な環境問題を訴えかける

講義② 「自分の財布」から見えてくる経済

テーマ 環境／経済と地域

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。



詳しくはこちら

● 学びの分野

データサイエンス

Data Science

● 担当教員

伊藤 学

国際文化学科
教授



【最終学歴】 東京大学大学院工学系研究科博士課程

【研究分野】 コンテンツ流通／メタデータ／AI解析／データサイエンス

【担当する科目】 情報技術資格対策(ITパスポート)／デジタルコンテンツ制作

» データを把握し、意思決定をサポート

データサイエンスとは、生活の中に存在する“問題”や“課題”にある“なぜ?”をデータから把握し、解析して、次の意思決定をサポートするテクニックです。「この課題ではどの解決手法を用いたらよいか」「データを見やすく提示するにはどのようにすればよいか」などといった点から学びをスタートします。

この学問と社会とのつながり

金融投資、車の自動運転、チェーン店の新規出店および撤退、コンビニのキャンペーン、ビールの生産量、宝くじの高額当選数と額、Googleヒット順、電子マネーのクーポン発行などは、データサイエンス領域で決定されています。私たちは、多くの生活シーンでデータサイエンスと関わっているのです。

NEW

こんな授業をします

私たちは、スマートフォンやPCなどに搭載されたアプリやシステムを使いこなしながら生活しています。企業や団体においても、業務改善や社員満足の向上のためDX導入を加速させています。その仕組みや使い方、データの読み方、解析手法などを学び、リテラシーレベルを向上させます。

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 分かりやすいデータサイエンス



詳しくはこちら

テーマ インターネットビジネス / DX / 問題発見と解決

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

映像制作

Video Production

● 担当教員

一戸 信哉

国際文化学科
教授



【最終学歴】 早稲田大学大学院法学研究科公法学専攻修士課程

【研究分野】 情報法／情報メディア論

【担当する科目】 情報メディア論／デジタルジャーナリズム論／情報法／時事問題研究／情報メディアPBL／海外メディア事情／情報メディア演習／アクティブラーニング演習

» デジタルクリエイティブの探究

情報が溢れる現代社会の中で、どのように自己のアイデアを際立たせ、伝えるべきか。デジタルメディアによる映像作品やラジオ番組の制作を通じて、独自の物語を紡ぎ出します。実践的なプロジェクトに挑戦しながら、批評的な思考を磨き、地域社会やグローバルな視野に立脚したコンテンツを制作します。

この学問と社会とのつながり

デジタル時代の進化に伴い、魅力的な表現と正確な情報伝達が社会に不可欠となりました。メディアを通じて社会と深く関わりながら、このバランスを学ぶことで、信頼されるコミュニケーターになれます。責任ある表現を心がけ、社会との健全なつながりを築きましょう。



学生コメント

「情報メディア」では、地元ラジオ局の番組制作や、地域の問題をテーマにした映像制作を行っています。企画、撮影、編集はもちろん、MCやインタビュー、SNSを使った広報まで実践的に学びます。また、制作には学外の方との交流もあり、人とのつながりの大切さを学びました。

高橋由翔
国際文化学科3年 / 新潟県立新潟東高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 映像で考える地域の過去・現在・未来

講義② ネット・スマホの安全利用を考える



詳しくはこちら

テーマ ドキュメンタリー映像制作 / ラジオ番組制作 / フェイクニュース

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

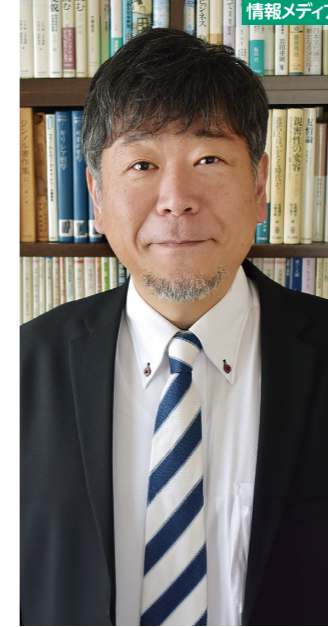
ゲーム文化

Gaming Culture

● 担当教員

加藤 裕康

国際文化学科
教授



【最終学歴】 東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科コミュニケーション学専攻修士課程

【研究分野】 社会学 / コミュニケーション論 / 若者論

【担当する科目】 デジタルコンテンツ概論 / メディア産業論 / 広報・広告コミュニケーション論 / コンテンツプロデュース論

» 遊びを科学する

日本は「ゲーム大国」と呼ばれ、文化・経済的な影響力を世界に与えてきました。その一方で、ゲームは何の役にも立たず、むしろ悪影響を及ぼすものとして非難されてきました。ゲームというメディアを利用して形成される文化を研究することで、決して一枚岩ではない、こうしたゲーム文化の形成過程を学びます。

この学問と社会とのつながり

ゲームは私たちの日常生活に浸透しています。ゲームをプレイすることで報酬をもらうプログラマーが誕生し、ゲームをスポーツと捉えた「eスポーツ」が注目を集めています。また、高齢者のリハビリや家族関係の修復など福祉的な目的や、部活動など学校教育の中にもゲームが利用されています。

NEW

こんな授業をします

新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、インターネット、ゲームなど、私たちが生活で利用しているメディアは、どのように作られ、利用され、社会に影響を及ぼしているのでしょうか。メディアの歴史と産業構造、利用形態、その社会的背景を包括的にとらえ、私たちの現在を見つめ直します。

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① なまけてないでゲームをしなさい!?

講義② コミュニケーションのカタチ



詳しくはこちら

テーマ ゲーム / メディア / コミュニケーション

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

自由な学びが あなたの未来を支えます

「約47%の労働人口がコンピューター技術に代替される」

これは、人工知能(AI)についての研究者、オックスフォード大学のオズボーン教授が分析した、10~20年後の未来の予測です。

変化が激しく、グローバル化が進む時代の中で人生を歩んでいく高校生の皆さんに必要なこと、それは、“今”即戦力となる専門技術を身につけることではなく、まだ見えない“未来”で、新しい価値を生み出していく創造力と、時代の変化に流されない価値観とを身につけることです。

敬和学園大学のリベラルアーツによる、幅広く自由な学びは、あなたの長い人生の中で、技術や生活環境が変わっても対応できる創造力と、あなた自身の幸せを決めるための確かな価値観を与えてくれます。

人生の生き方を学び、人格を形づくる、これからの大切な4年間。敬和学園大学での学びが、あなたの未来を支えます。



英語文化 コミュニケーション 学科

[English and Communication]

英語・文化・コミュニケーションで 世界と自分の未来を拓く

変わりゆく世界で異文化を理解し、互いの考えを深く通わせるために、リベラルアーツと少数教育で養う対話の力と多面的思考力がますます必要となっています。英語文化コミュニケーション学科では、道具としての英語、知識としての文化、手段としてのコミュニケーションの力で世界と自分の未来を拓き、平和を実現する力を育てます。



文学・文化 コース

英語圏の文学・文化から 人間理解や世界観を学ぶ

英米の文学作品や文化、歴史、社会の動きを学び、言葉に対するセンスを磨くと共に、英語圏の人々の人間理解や世界観を学びます。同時に、自分の文化への意識と理解を深めていきます。



英語教育 コース 教職課程(英語)

児童や生徒に英語を教える知識と 技術を学ぶ

英語教育に必要な知識と、教える技術を実践的に学び、専門教科の知識を深めます。理論と実践の両面を備え、児童や生徒への英語教育に関わる人を育てます。教員免許(英語)が取得できます。



キャリアコミュニケーション コース

実践的な英語力と コミュニケーション能力を高める

通訳などの専門スキルのみならず、広く仕事に生かせる英語力を鍛えます。人との関わりや地域・世界の動きについても学び、学外学習を通して主体的にコミュニケーション能力を養います。

● 学びの分野

アメリカ社会史

American Social History

● 担当教員

山崎由紀

英語文化コミュニケーション学科
教授



【最終学歴】 米国カトリック大学大学院歴史学部博士課程(Ph.D.)

【研究分野】 アメリカ文化／アメリカ研究／アメリカ史

【担当する科目】 メディア英語／英語文化圏研究／講読／コミュニケーション演習

≫ 人々の目線から国家や共同体の歴史を探る

アメリカは、肌の色や祖先の故郷、そして政治信条や宗教の違いといった多様性を認める国であり、多様な背景を持つ人々に機会が与えられる国です。しかし、このことが認められるまでの道のりは平坦ではありませんでした。「人々の目線」から学ぶアメリカの歴史を通して、私たちの生きる社会を考えます。

この学問と社会とのつながり

歴史を学ぶ何より大切な目的は、歴史に学ぶこと、過去を教訓とすることです。社会のあらゆる場面で「多様性」を経験してきたアメリカを学ぶことは、少子化や経済・外交問題に直面する日本や、国際交流を求める私たち個人に多くのヒントを与えてくれます。日本も私たちが思う以上に多様化しているのです。



菅 詩音
学生コメント
英語文化コミュニケーション学科4年／新潟県立新発田高等学校出身

「アメリカ社会史」では、黒人や先住民、移民等のアメリカにおけるマイノリティの人々について学びます。書籍に加え、インターネットを駆使することで多くの事象を学べました。どんな社会にもマイノリティの人々が存在することを知り、社会のあり方を考える上で欠かせない視点を持つことができました。

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 英語のニュースで読み解く国際社会

講義② 第二次世界大戦中の在外日本人と日系人

テーマ アメリカの歴史と現代社会／多文化主義／市民運動・社会運動

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。



詳しくはこちら

● 学びの分野

アメリカ文学

American Literature

● 担当教員

荒木陽子

英語文化コミュニケーション学科
教授



【最終学歴】 新潟大学大学院現代社会文化研究科国際社会形成論専攻博士後期課程

【研究分野】 北米英語圏の文学、文化

【担当する科目】 英語文学／現代文学・文化論／文学研究／異文化コミュニケーション論／翻訳／コミュニケーション演習

≫ 北米の文学と、それを生み出した背景を学ぶ

北アメリカというと、英語圏のイメージが強いですが、フランス語圏やスペイン語圏に加えて、各種先住民の言語圏もあります。日常的に多様な言語が使用され、さまざまな文化が共存しているのが現実です。北米の中でも特に英語圏の文学や文化を中心に、それを生み出したコンテクストも含め研究します。

この学問と社会とのつながり

文学や文化は、社会や時代、そして作家があって、はじめて生成されます。また一方で、文学や文化が、社会を動かしていくこともしばしばあります。ですから、文学や文化を純粋芸術としてのみ楽しむことももちろん可能ですが、それでは非常にもったいないような気がします。



高橋創汰
学生コメント
英語文化コミュニケーション学科3年／新潟県立新発田高等学校出身

「アメリカ文学」では、アメリカの歴史を知ることで、より深く作品の持つ意味やその背景、作者の意図を考察することができます。また、その文学作品を理解するために必要となる参考文献の探し方やポイントの抑え方も同時に学ぶことができ、本を読むことが上手になりました。

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① カナダ沿海諸州の風土と『赤毛のアン』

講義② 北米のノーベル文学賞受賞者たち

テーマ 北米／文化／文学／環境／人権

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。



詳しくはこちら

● 学びの分野

イギリス文学

English Literature

● 担当教員

金山愛子

人文学部
学長・教授



【最終学歴】 米国プリンマー大学大学院古典ギリシア語専攻修士課程

【研究分野】 ギリシア悲劇およびシェイクスピアを中心としたイギリス演劇／児童文学

【担当する科目】 英語文学／児童文学

≫ 文学は人間的生き方を模索する手がかり

英文学は、英語で書かれた文学作品を研究する学問です。文学は人の心や社会、時代を映す鏡です。個人を描きながら、普遍性があります。文学研究を通して、国境や時代を超えて、世界やそこに生きる人々の心のありようを知ると共に、これまでの人生を振り返り、新しい生き方を模索します。

この学問と社会とのつながり

シェイクスピアなんて役に立たない？利潤追求型の生産生活や、正解は一つしか認めない問題解決型の思考をしているとそう思うかもしれません。しかし、世の中には答えのない問題の方が多くはないでしょうか。多様な考えや生き方を許容する文学が、人間的な生き方を模索する手がかりを与えてくれます。



渡辺鈴菜
学生コメント
英語文化コミュニケーション学科4年／新潟県立新発田高等学校出身

「イギリス文学」では、歴史を紐解きながら、文学作品を通して当時のイギリスの様子が鮮やかによみがえるというおもしろさがあります。作品を生み出した作者の生い立ちや歴史的背景、構成言語や他作品との関連などその学びは幅広く、「英語」という言語の理解までも深まります。

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① イギリスの風土と人々

講義② リベラルアーツの学び

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。



詳しくはこちら

● 学びの分野

英語学

English Linguistics

● 担当教員

主濱 祐二

英語文化コミュニケーション学科
准教授



英語教育 キャリアコミュニケーション

【最終学歴】名古屋学院大学大学院外国語学研究科英語学専攻博士後期課程

【研究分野】英語学

【担当する科目】英語学／英文法／通訳実践／グローバルコミュニケーション実践／言語学／コミュニケーション演習

» 英語を通して人間の知の営みを探る

英語学は、英語ということばを対象に、音声・意味という側面と、それを結びつける文法という側面から、人間のことばの仕組みを解明しようとする学問です。英語の仕組みはもちろん、その歴史的・文化的・社会的背景も学びながら、英語を通して人間の言語知識の構造や豊かな知の営みを探ります。

この学問と社会とのつながり

ことばを研究することは、「私たちが人間たらしめるものは何か」という問いと同義であり、人間を理解するための重要な学問分野です。コミュニケーション、教育、情報科学、さらには文化全般に、ことばの研究は強く関わっています。



学生コメント

「英語学」では、英語が多くの国で話されるようになった経緯や、どのように現在私たちが学習する英語になったのか、その歴史を学びます。話し手と聞き手では言葉の意味が変わるなど、日本語にも共通する言語と心理の関係を学べるので、社会において良好な人間関係を築くことにも役立ちます。

吉崎佳太

英語文化コミュニケーション学科4年／新潟県立新津高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 英語らしさと日本語らしさの比較

講義② グローバル・コミュニケーション入門



詳しくはこちら

テーマ 言語／認知／通訳／翻訳

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

心理学

Psychology

● 担当教員

益谷 真

英語文化コミュニケーション学科
学科長・教授



英語教育 キャリアコミュニケーション

【最終学歴】同志社大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程

【研究分野】コミュニケーション行動の心理学

【担当する科目】心理学／コミュニケーションの心理学／コミュニケーション演習／発達と学習の教育心理学／教育の方法・技術とICTの活用／教育相談／教育活動アクティブワーク／教育実習事前事後指導／教職実践演習

» 心の働き方の理解を深める

心理学は心の働き方を研究します。分かりやすい対象としては、錯覚、性格、思考、記憶、意欲、感情、コミュニケーション行動などがあります。一人ひとりの心には違いはありますが、共通する働きに注目して、普遍的な原理を科学的に探究します。

この学問と社会とのつながり

一般の人々との接点の多い臨床心理学では、臨床心理士に加え、国家資格として「公認心理師」が誕生しました。他にも心理士、発達臨床心理士、健康心理士、学校心理士などの認定資格があり、エキスパートが社会で活躍しています。



学生コメント

「心理学」では、人間を理解すること、自分を知ることなどを学んでいます。人が何かを実行するまでのプロセスには必ず理由が存在します。普段私たちが何気なく行っている行動には、それぞれ明確な動機づけがあると分かった時のおもしろさは心理学ならではのものだと思います。

松本菜々

英語文化コミュニケーション学科3年／新潟県立上根ヶ丘高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 心の不思議

講義② コミュニケーションの合気道



詳しくはこちら

テーマ 心理／教育／コミュニケーション

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

教育学

Education

● 担当教員

江口 和美

英語文化コミュニケーション学科
准教授



英語教育

【最終学歴】早稲田大学大学院教育学研究科教育基礎学専攻博士後期課程

【研究分野】教育学／教育行政学／公共経営学

【担当する科目】教職入門／教育制度論／カリキュラム論／教育実習事前事後指導／教職実践演習／人間形成学／コミュニケーション演習

» 健やかに生きるための学びを教育的に探究

教育学は、人がよりよく生きるための知識・教養の獲得や能力向上を促す行為に関するすべてを研究対象とする学問です。教職のための理論・技術のみでなく、教育の歴史、思想、哲学、心理、行政など大きな広がりを持っています。また、対象も学校教育のみならず、社会教育なども含まれます。

この学問と社会とのつながり

皆さんは児童・生徒として義務教育を受けてきました。学校でなぜこんなことに取り組むのだろうと不思議に思ったことはありませんか。学校教育の歴史、制度、そもそも義務教育とは何かなどを学び、児童・生徒以外の視点から考えてみると、社会の中での学校の姿や求められてきた役割が見えてきます。



学生コメント

「教育学」では、教育のあり方について総合的に学びます。教育には、さまざまな人間や役割が介在するため、教育の目的や社会的意義、政策などにも学びを広げる必要があり、多面的な奥深さを感じています。現代に求められる教育や教育者とは何かを模索するようになりました。

西村実頼

英語文化コミュニケーション学科3年／新潟県立燕中等教育学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 義務教育は全国的に同じなのか

講義② 教育経費の無料化と平等



詳しくはこちら

テーマ 学校教育／教育制度／教育費／義務教育／教育と政治

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

児童英語教育

English Education for Children

● 担当教員

大岩 彩子

英語文化コミュニケーション学科
准教授



英語教育

【最終学歴】ハワイ大学マノア校第二言語研究科修士課程

【研究分野】第二言語教育／社会言語学／批判的教育論／市民性教育／UDL／インクルーシブ言語教育

【担当する科目】児童英語教育概論／児童英語指導実習論／コミュニケーション演習

» 児童対象の英語指導法を学ぶ

児童英語教育のさまざまな理論と指導法を学び、演習形式の授業で指導力・英語運用能力を養います。ユニバーサルデザインを意識した授業と、児童が楽しんで英語を習得する指導計画を組み立てます。児童が「できた!」と感じられる英語の授業を運営できる人材を育成します。

この学問と社会とのつながり

言語は社会で生きていく上で基礎となり、相互理解に役立ちます。母語以外の言葉を学ぶことで、生まれ育った環境とは別の文化や社会を知り、異なる文化の人と交流できるようになります。子どもが文化の違いを受け入れる、互いの多様性を理解することが、未来のより平和な社会につながります。



学生コメント

「児童英語教育」では、小学生を対象に、英語に親しんでもらうことを目的とした授業案の作成や実践的な指導法を学びます。また実際に小学校に出向き、絵本の読み聞かせや歌など、子どもたちの個性に合わせてさまざまなアクティビティを通して英語を楽しく教えています。

渡邊理央

英語文化コミュニケーション学科3年／私立科学技術学園高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 多重知能から、学習スタイルを知ろう

講義② 大学の英語の授業を体験してみよう



詳しくはこちら

テーマ 英語教育／児童英語教育／市民性教育／学習のユニバーサルデザイン

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

日本語教育

Japanese Education

● 担当教員

木林理恵

人文学部
契約講師



英語教育 多文化理解

【最終学歴】東京外国語大学大学院地域文化研究科博士後期課程

【研究分野】日本語以外を母語とするものに対する日本語教育／社会言語学／語用論／総合的会話分析

【担当する科目】日本語／日本事情／日本文化論／日本語入門／留学生と学ぶ日本語表現／日本語能力試験対策クラス／日本語教育学概論

» 「日本語」を手がかりに世界を広げる

日本語教育は複合領域で幅広いテーマが含まれる学問です。純粋にことばと向き合うこともできますし、地域の人々とつながって活動することもできます。「日本語」を手がかりに、さまざまな知識を得るだけでなく、多面的な考え方を身につけ、探求心を育てましょう。

この学問と社会とのつながり

私たちは「普通はこうだよ」という表現を使うことが多いです。しかし、「普通」から離れた言葉づかいがおもしろがられたり、「正しい」はずの言い方なのに失礼な振る舞いになったりすることがあります。このようなコミュニケーション上の効果を理解していきましょう。



「日本語教育」では、普段何気なく使っている日本語がどのように分類されて、教育の現場で使われているのを知りました。また、実践の場として、日本語教育関連のボランティアに参加することもできます。同時に異文化理解、異文化コミュニケーション力も高めることができました。

石川 恵
国際文化学科4年 / 私立東京学館新潟高等学校出身

学生コメント

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 日常会話を見つめ直そう

講義② 異文化コミュニケーション・ゲーム



詳しくはこちら

テーマ やさしい日本語

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

共生社会学科

[Community and Social Welfare]

福祉とビジネスを融合した新たな視点で「生きるを共に」する力を育む

近年、地域社会において数多くの課題が生じています。その課題解決のためには、新たなコミュニティづくりが必要であり、それを実践できる力が求められています。共生社会学科では、福祉的な視点を持ちながら、地域課題解決のための活動を持続可能なものへ成長・発展させ、あらゆる人々と「生きるを共に」する力を育みます。



ソーシャルワーク コース

社会福祉士国家試験受験資格課程

社会福祉の知識と技術を深める

社会福祉の理論と実践を学び、生活課題を抱える地域や人々を支援する専門職であるソーシャルワーカーを育成します。社会福祉士国家試験受験資格、社会福祉主事等の資格が取得できます。



ソーシャルビジネス コース

課題解決型ビジネスにより

持続可能な社会をつくる

地域のさまざまな課題をビジネスの視点から解決するソーシャルビジネスのあり方や仕組みを実践的に学びます。まちを活性化し、地域経済に貢献する人を育成します。



● 学びの分野

福祉思想と実践

Welfare thought and its practice

● 担当教員

田中利光

共生社会学科
教授

ソーシャルワーク ソーシャルビジネス 多文化理解



【最終学歴】首都大学東京大学院人文科学研究科社会行動学専攻博士後期課程

【研究分野】福祉思想(ユダヤ教、キリスト教) / 社会事業史

【担当する科目】キリスト教社会福祉思想史 / 共生の哲学 / 障害者福祉論 / 共生とケア演習 / ソーシャルワークの基盤と専門職 / ソーシャルワークの理論と方法

» ボランティアの思想的背景を理解する

欧米の福祉思想の源流は、古代ユダヤ社会で形成された慈善にありました。後に、それを受け継いだキリスト教慈善の制度・実践は、今日につながる欧米のボランティアや福祉文化の基盤を形成していきました。それらの歴史の変遷を、その時代の資料に基づいて学習します。

この学問と社会とのつながり

マザー・テレサのインドでの事業や活動など、社会の中で思想と実践がどのように連動しているのを見ることで、共に生きる社会を支えている福祉思想を理解します。特に近代以降の欧米では、女性の社会活動が慈善事業や社会事業発展の大きな担い手となりました。



「福祉思想と実践」では、キリスト教に基づいた福祉思想を学びます。教室での学びに加え、大学の敷地内にあるグループホーム「富塚のぞみの里」で高齢者の方と交流を深める機会もあります。試行錯誤しながらも、利用者さまに満足いただけるような内容を考えることにやりがいを感じています。

森 明歌音
共生社会学科4年 / 私立東京学館新潟高等学校出身

学生コメント

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 古代福祉思想へのタイムトラベル

講義② 女性の社会進出へのタイムトラベル



詳しくはこちら

テーマ 共生 (イスラエル＝パレスチナ問題から)

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

社会福祉

Social Welfare

● 担当教員

山崎ハコネ

共生社会学科
学科長・教授

ソーシャルワーク



【最終学歴】日本社会事業大学大学院社会福祉研究科博士前期課程

【研究分野】地域福祉実践とケア思想 / キリスト教死生学

【担当する科目】ボランティア論 / キリスト教社会福祉思想史 / 死生学 / 高齢者福祉論 / 福祉経営論 / 共生とケア演習 / ソーシャルワークの理論と方法

» 人間としてどう生きるのかを学ぶ

日本は超高齢社会を迎え、地域共生社会の実現に向けた総合的かつ包括的な政策・地域づくりが求められています。困りごとや生きづらさを抱えている子どもから障害のある方、お年寄りや家族、地域とつながり、他者を気遣う心を持って寄り添う支援、共生の道を模索していく学びが社会福祉です。

この学問と社会とのつながり

誰もが安心して暮らせるまちづくりが求められています。全世代の地域住人が対象です。人と共に生きる場で起こるさまざまな生活課題に対して、その緩和・解決に向けた援助が福祉の実践です。困っている人の力になれるように「共生」を一緒に考え、実践力を身につけていきます。



「社会福祉」では、社会の中で生きづらさを抱える人々に寄り添い、支える方法を考え、実践しています。理論だけでなく、福祉の現場や現状を知ることによって理解を深めることができます。また、意思決定支援や緩和ケアのあり方などを通して、いのちの向き合い方について考えます。

横田龍飛
共生社会学科4年 / 私立松陰高等学校出身

学生コメント

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 広がる子ども食堂

講義② 「意思決定支援」ってなあに？



詳しくはこちら

テーマ 人権 / 共生 / 居場所

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

地域福祉

Community Welfare

● 担当教員

趙 晤行

共生社会学科
教授

ソーシャルワーク ソーシャルビジネス



【最終学歴】日本社会事業
大学大学院博士後期課程

【研究分野】地域福祉/
ソーシャルビジネス/
社会福祉におけるアールブ
リュットのもつ意義

【担当する科目】地域福祉
論/社会起業論/社会福
祉/共生とケア演習/ア
クティブラーニング演習
/ソーシャルワークの理論
と方法/ソーシャルワーク
演習/児童館・放課後児
童クラブの機能と運営

» 地域課題の解決策は地域にある

現代社会に生きる私たちの抱える社会的課題は、複雑・多様化しています。コミュニティの機能が脆弱化した今、あらためて地域を基盤とした福祉の営みとその解決策に向け、地域福祉や社会的企業、まちづくりという視点から問いかけます。

この学問と社会とのつながり

現代の社会課題の解決のためには、従来の社会福祉の手法に留まることなく、社会、経済、文化など、地域を構成するあらゆる要素からのアプローチが必要です。地域福祉は、生活に直結する問題に関わる日常生活の実践として発展してきました。この学びは、人々の生活とは切っても切れない存在なのです。



学生コメント

「地域福祉」では、住民を主体として地域の特性や強みを生かしながら課題を解決する手法を学びます。また、粟島や新発田市上三光といった地域に入って地域の方々と交流しながら活動することも多く、座学での学びを発展させながら地域課題について考え、実践につなげています。

五十嵐 真羽
共生社会学科3年/新潟県立見附高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 地域福祉、ソーシャルビジネスとは何か

講義② 福祉はアートだ!アール・ブリュットの世界

テーマ 地域福祉/ソーシャルビジネス/障害とアート

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。



詳しくは
こちら

● 学びの分野

社会起業

Social Entrepreneurship

● 担当教員

石坂 誠

共生社会学科
准教授

ソーシャルワーク ソーシャルビジネス



【最終学歴】佛光大学大学
院社会福祉学専攻博士後期課程

【研究分野】貧困・社会的排
除/ソーシャルワークと協同
の形成/非営利・協同組織
の運営/SDGsと地域づくり

【担当する科目】社会起業
論/社会保障論/保健医
療と福祉/公的扶助論/共
生とケア演習/フィールド・
トレーニング事前事後指導

» 山積する生活問題を解決・緩和する手法を学ぶ

地域にはソーシャルワークの実践のみでは解決できない問題が存在しています。そうした生活問題を解決・緩和していくための社会資源をどう作り出していくかが問われています。地域に必要な社会資源を生み出していく手法や社会起業の主体としてのNPO、協同組合、企業などについて学びます。

この学問と社会とのつながり

現在の日本には、貧困・社会的排除、下流老人、社会的孤立など、さまざまな生活問題が山積しており、既存の制度・政策やソーシャルワークだけでは対応しきれなくなっています。こうした問題に、NPO、協同組合、企業などさまざまな主体がそれぞれの個性を生かして、取り組んでいます。



学生コメント

「社会起業」では、貧困、温暖化、人口減少など現代社会の課題について学びます。また、それらの課題の解決策を考えて、起業案を作成します。社会起業を学ぶことで、気づかなかった生活課題に関する問題を知り、社会や生活に関しての新たな知識を身につけることができました。

緒形 文香
共生社会学科4年/私立敬和学園高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 持続可能な地球と持続可能な地域

講義② 人・地域・地球へのケア

テーマ 貧困/SDGs/人権

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。



詳しくは
こちら

● 学びの分野

ボランティア

Volunteerism

● 担当教員

池田しのぶ

共生社会学科
助教ボランティアコーディネーター

ソーシャルワーク ソーシャルビジネス



【最終学歴】新潟医療福祉
大学大学院社会福祉学専
攻修士課程

【研究分野】ソーシャル
ワーカー養成におけるボラ
ンティアマインドの意義

【担当する科目】ソーシ
ャルワークの理論と方法/
ソーシャルワーク実習指導
/ソーシャルワーク演習

» 思いを行動に移し、自分らしい生き方を見つける

「誰かのために何かしたい」という思いを行動に移してみると、さまざまな出会い、経験から多くのことを学ぶことができます。やるもやらないも自由なボランティア活動から、自分らしい生き方を探ることができるかもしれません。ボランティアの意味、その歴史や活動・実践事例を学びます。

この学問と社会とのつながり

ボランティア活動の場は、災害現場や社会福祉分野ではありません。地域づくり、まちおこし、自然環境整備、エコロジー、地域社会から国際社会まで、この社会におけるあらゆる場面で必要とされ、その活躍が期待されています。



学生コメント

「ボランティア」では、活動に参加することで新しい経験を積むことができ、自らを発展させることができます。ボランティアセンターは、学生が参加できる活動を発信してくれます。私は、その中で興味を持った災害ボランティアに参加し、防災についても関心を持つようになりました。

高橋 円
国際文化学科3年/新潟県立新発田商業高校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 社会を変える「ボランティア」

講義② ソーシャルワーカーの働き

テーマ ソーシャルワーク/ボランティア

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。



詳しくは
こちら

● 学びの分野

スポーツ科学

Sports Science

● 担当教員

松浦進二

人文学部
特任教授



【最終学歴】
法政大学社会学部社会学
科

【研究分野】
バドミントン競技

【担当する科目】
スポーツ実習

» 元オリンピック選手が指導するスポーツ実習

全日本バドミントン総合選手権で13回優勝、バルセロナオリンピックでは5位入賞し、その後は全日本チーム、実業団チーム、大学チームの監督として選手を育成してきた実績を元に、全学生が必修の「スポーツ実習」を担当します。

この学問と社会とのつながり

多くの競技スポーツでは、厳しいトレーニングにより技術や体力を向上させることだけでなく、「他者への気遣い」「礼儀」「言葉遣い」が重視されています。このような経験と訓練は、選手の人格の形成や自己実現につながり、社会に出てからも生かされています。



学生コメント

「スポーツ実習」は、テニスやバレーボール、バドミントンなど、先生の丁寧な説明で安全にスポーツに向き合えます。また、メリハリをつけた指導でみんなが真剣に取り組むので、コミュニケーションが深まり、新しい友達もできます。運動技能だけでなく、協調性やコミュニケーション能力も磨かれます。

瀧口 愛己
英語文化コミュニケーション学科4年/福島県立あさか開成高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 夢をあきらめない

講義② 競技としてのバドミントン(実技指導)

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。



詳しくは
こちら